

小域福祉ネット

牛久

第 25 号  
令和2年2月  
発行  
牛久小学校区  
小域福祉ネットワーク  
広報委員会  
2月・8月発行  
発行責任者  
志村 紀嘉



# 創ろう！ 安心・安全・元気な街

## 昨年の台風災害を体験して

昨年のは比較的温暖な気候と全国的に災害の少ない風と地域で、三つの大きな風害が発生しました。その水害が災害の爪痕はいまだ大きな復旧の途上である世帯も多々あり、あまたの被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。九月九日「台風十五号」の襲来により牛久では最大瞬間風速三十三・九メートルの強い風により倒木、住家の屋根・瓦被害や農作物の農業施設被害の他、停電の長期化により、通信障害が発生し情報の伝達が出来ず支援活動や住民生活に大きな支障が生じました。この被災後、私たちは小域福祉ネットワークで、例え活動のなかで、ただちに「今回の災害を体験して思うこと」をテーマにワークショップを行います。その見・要望・提言は百三十六件の資料となり、貴重な意見交換を行いました。

その一部を列挙します。情報の遮断が、対応の遅れ、安心感の阻害要因となつた。

○電気の大切さを痛感した。支援方法を工夫する人への支援方法の工夫

○見守り活動も一部は機能した

○自助の備えの必要性を痛感した

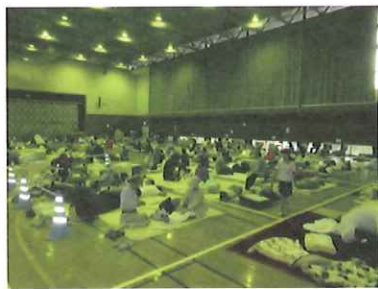
○組織的体制の必要性について、地区ごとに見直す必要がある

○「危機感の薄さを教訓に、事前準備の心構え」の必要性を確認したところ

○「危険感の薄さを教訓に、事前準備の心構え」の必要性を確認したところ



(米沢交差点の冠水地点)



(南総体育館の避難状況)

○「台風二十五号」は、観測史上最大の雨の影響で、養老川の氾濫が三九日、南総地区中心に三九日、世帯八九三に對しては、最大の警戒レベル5が発令されました。米沢交差点の冠水も、急傾斜地の土砂崩れも、一部地域の停電・断水など、被害もたらす結果となつた。十月二十五日には、さらい、牛久では、観測史上最大の雨の影響で、養老川の氾濫が三九日、南総地区中心に三九日、世帯八九三に對しては、最大の警戒レベル5が発令されました。米沢交差点の冠水も、急傾斜地の土砂崩れも、一部地域の停電・断水など、被害もたらす結果となつた。

あらためてその被害状況には目を覆う状況が現実と、自然災害の怖さを痛感した。昨年でした。こうした、三度の大きな被災状況にあっても、地域の住民に見られた、支え合い、助け合う基本の「共助」の姿勢は、小域福祉ネットワークで培った「ひとりではない、共に助け、支え合う仲間が一人でも多く共感できる日常を目指した活動」が定着している証ともいえます。

今年「子年」。再び新しい十二支のサイクルが、スタートする年でもあり、「子」は本来「孽(し)」という字で、種子の中に新しい生命がぎざぎざ状態を指すともいわれます。昨年の災害を教訓に原点に戻り、災害のない安心・安全な生活を祈るとともに、その実現に向けあらためて「共助の大切さ」を皆様に進めたいと考えます。

※市原市では、三度の風水害を中心として被災された方への生活再建に向けた支援パッケージを用意しております。各種支援制度の詳細については南総支所および各担当部署にお問合せ下さい。

環境部会長 山本義雄

# 福祉ネット牛久



(光福禅寺にある佐瀬城址絵図)

以前に住んでいた切掛けで私が  
 して、佐是城の武者走り  
 があって、それ以来、寝床  
 ビックリ。それ以来、寝床  
 に入ると鎧を身に付けて、武  
 者が馬で駆け抜ける姿が、昨  
 何度か頭に浮かんだ。昨年  
 六月から始めた通いの場  
 で、地元山田久保出身の田  
 中操氏(現在国分寺台在住)  
 から「佐是城址」の話を知っ  
 た。中々で知ることができ、そ  
 の田中氏のご紹介をうけて、そ  
 のさわりを紹介する。

## 佐是城址

私達の住む牛久地区には  
 数え切れない程の伝統的な  
 文化及び芸能があります  
 今回はその第七弾です

佐是(佐瀬)城は、武城  
 (たけぎ)と呼ばれた崖と古  
 墳をうまく生かした舌状台  
 地(東西六百米・南北七百  
 米)の先端に築城された城  
 で、市内屈指の城郭史上に  
 残る名城とのこと。城の歴  
 史は古く長く、応仁の乱の  
 頃(一四六七年)真里谷信  
 長の孫 佐瀬三郎国信が  
 主郭と曲輪で構成する館  
 づくりから始まり、初期の城  
 づくりから戦国末期(天正  
 時代)の大改造と、凡そ五  
 百年に及ぶ長い城づくりの  
 変遷を思い起させる城であ  
 る。主郭は佐是地区の崖の  
 上にあり、城域・城郭には  
 内・外・馬出し等の曲輪群  
 空堀、土塁、大門、追手門  
 祝台、武者走り、と面影を  
 今も偲ぶことが出来る。

(資料提供は  
 西国吉の岩地光平氏)

この様な中で西国吉には  
 堀之内・曲輪・出口等の  
 地名があり、西台地の城郭  
 部分・東台地に城域部分が  
 広がっており、八幡社(武  
 田氏の鎮守)・天王様(牛  
 頭天王をまつる祇園精舎の  
 氏神)、堀跡、土塁(高さ  
 二米程)、祝台、武者走り  
 があって伺った。地元の林  
 で荒れた本城の跡は竹  
 の重なる産として、また  
 ”の場と次第である。いい  
 ”と残して、またいい



なのはな館西側  
 からのぞむ武城

## あいあい広場



妙香の通いの場



平成三十一年度から  
 始まった「通いの場」で  
 は、みんなで作る楽し  
 い触れ合いの場を合  
 言葉に、心身機能の向  
 上に努めています。  
 日九時自治会館で毎週木曜  
 健康体操・ポッチャ・  
 ふまねっと等の軽スポ  
 将棋・カラオケ・茶話  
 会等を行っています。  
 参加者は、ほぼ男女  
 同数の毎回十八名程度  
 住民の円滑なコミュニ  
 ケーションづくりの場  
 にもなっており、とつ  
 れても和やかな場が作ら

### 停電時に役立つ非常用備品

- ・カセットコンロ
- ・紙コップ・紙皿・ラップ・ポリ袋
- ・水や経口補水液
- ・懐中電灯と乾電池
- ・携帯ラジオ
- ・携帯電話のモバイルバッテリー
- ・ウエットティッシュ・マスク・非常用トイレ

### 編集後記

昨年、3つの台風により思わぬ被害に遭い、大変な年でした。今年は、災害がなく明るい笑顔で楽しく過ごせると良いですね。

吉田 久子 【広報委員長】